

第 1 回 地球温暖化対策実行計画検討部会の審議経過について

1. 計画改定に関する部会の審議スケジュール

時 期		審議会部会	全 体
平成 29 年	8 月	第 1 回検討部会 (8/1) 〔計画の改定に向けて ・取り組みスケジュール〕	環境審議会全体会 (諮問等)
	9 月		
	10 月	第 2 回検討部会 〔排出量の現況・将来推計 ・計画の目標 ・計画に位置づける施策〕	
	11 月	第 3 回検討部会 〔市民・事業者アンケート結果 ・計画に位置づける施策〕	
	12 月	第 4 回検討部会 〔部会報告 (案) について〕	
平成 30 年	1 月		環境審議会全体会 (部会報告)
	2 月		答申
	3 月以降		(3 月) パブリックコメント の実施 (4 月) パブリックコメント の結果公表 (6 月) 計画改定、公表

2. 第 1 回部会での部会委員による主な意見等

(1) 計画の目標設定について

- 温室効果ガスの総排出量とあわせて、取り組みに対する成果が反映される目標を設定することが必要。
- 温室効果ガスの総排出量に関する目標では、排出係数固定型と変動型では、それぞれ、メリット、デメリットがあり、目標設定には工夫が必要。
- 国の 2050 年の長期目標は象徴的なものであり、今後 5 年間の短期目標や取り組みを設定することが重要。

(2) 計画に位置づける施策について

- 効果が見える具体的な取り組みの洗い出しとともに、効果に直結しにくくても、枚方の地域特性を生かして、市民啓発といった取り組みを洗い出す必要がある。
- 取り組みの強化が必要な分野の分析が必要。
- 枚方市の地域特性を考慮し、施策を検討することが重要。
- 地球温暖化対策では、取り組みを広める「人づくり」が重要。
- 地球温暖化対策の一環として、さらなるごみ削減の取り組みが重要。これは、清掃工場における温室効果ガス排出量削減にもつながる。

(3) 市民・事業者アンケートについて

- 市民・事業者アンケートについて、前回との比較を行うには工夫が必要。
- アンケートでは、市民や事業者に対して、具体的な地球温暖化防止に関する取り組み状況を聞くことが必要。

(4) その他

- 部会では、計画期間内に実施すべき事項と、次期計画で検討すべき事項に分けて整理する必要がある。
- 資料の事前配布をお願いしたい。(データでの配布も検討する必要がある。)

※事務局では、現在、10 月の第 2 回部会に向けて、市域の温室効果ガス排出量の現況及び将来推計を行うとともに、「目標設定の考え方」や「計画に新たに位置づける施策」等について検討を進めています。